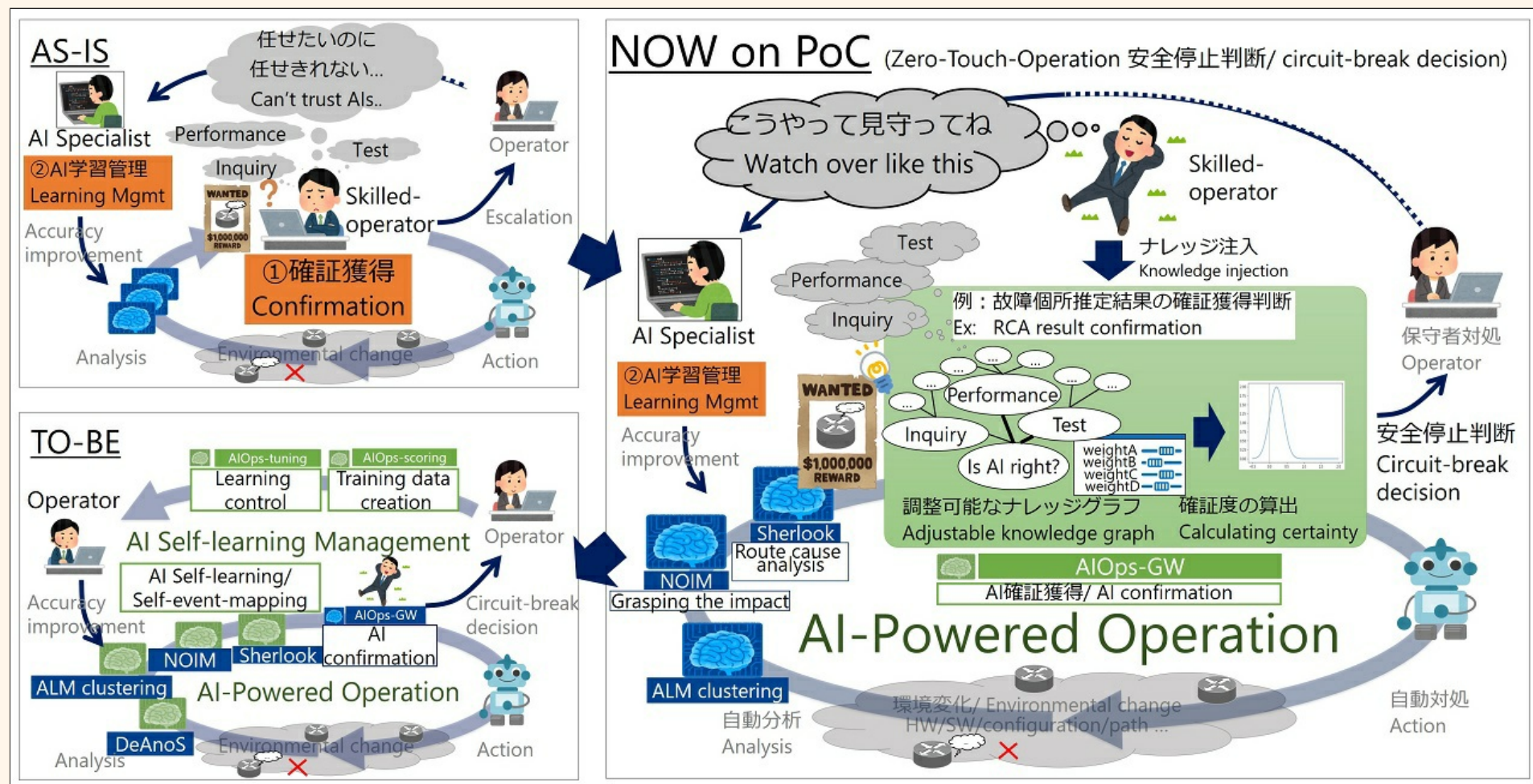




# AIの安全な組み込みでゼロタッチオペレーションの対象を広げます

### 概要

AIによる運用を実現するためには、オペレータが環境変化（例：新規装置追加）に対するAIの動作をチェックし、追従できるよう再学習させる必要があります。本展示では、現在、NTT研究所とNTT西日本でPoCを進めている、環境変化によるAIの精度低下を検出し、保守者にエスカレーションするAIOps-GW技術の動体デモを紹介します。



### 特徴

- AIの分析誤りを外部情報も取り込んで評価できる独立した出力フィルタモデル
- 学習データの少ないオペレーションナレッジをモデル化・調整できるCPT値チューニング技術

### 利用シーン

- AIが故障原因分析を誤っても、保守者のように周辺情報から誤りに気付いて、サーキットブレイク
- AI分析結果の確認の際、保守者のように周辺情報の誤りに気づいて、修正を支援

### 今後の展開

- 環境変化に追従するため、オペレータの判断結果を基にAI再学習を支援する技術、AI自体が環境変化を自律的に検知・適応する技術の確立に向けて検討を進めています。

### 出展社

日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社

問い合わせ先：rdforum-iic-ml@hco.ntt.co.jp